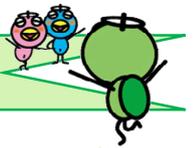




★「認知症 なかまで備え 支え合う」プロジェクト★



オレンジガーデニング ～ 中間市を花いっぱいにする会 ～



認知症啓発のシンボルカラーであるオレンジ色の花をたくさん植えて、認知症の啓発をできたらいいなあ。そんな思いを実現してくださったのはボランティア団体「中間市を花いっぱいにする会」のみなさんです♪



まずは除草作業、そして肥料を撒いて花植えです。ひとつひとつ丁寧に花を植えると、これまでとは全く違う景色になりました。その裏には、ボランティアさんの努力があります！この花を見て、多くの方が認知症のことを知ってくれますように…☆

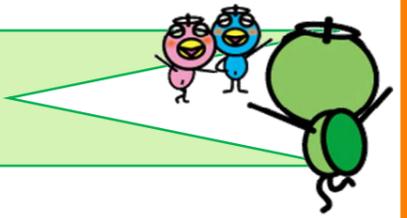


義手工房「ゆい」のみなさん。プロジェクトに賛同し参加していただきました！

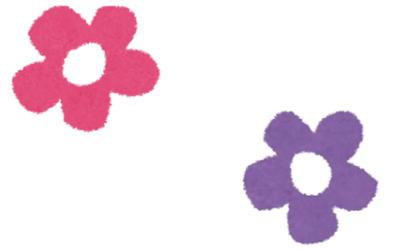




「認知症 なかまで備え 支え合う」プロジェクト



オレンジセーフティネット事業



オレンジセーフティネットとは…

認知症高齢者が行方不明になった場合に備え、早期発見になる事故防止や保護の迅速化を行い、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう支援体制を構築することを目的とした取り組みです。



デモンストレーションを実施！！

認知症の人が行方不明になったと想定し、市内でオレンジセーフティネットの試用実験を行いました。



行方不明になってしまった

アプリで
検索依頼！



この人かも
しれないなあ

情報を受けて
オレンジ協力隊
も検索開始！



無事発見！！



☆協力事業者☆

- ・株式会社イワタダイナース
- ・エフコープ生活協同組合 八幡西支所
- ・第一生命保険株式会社 北九州総合支社
- ・株式会社セブン-イレブン・ジャパン加盟店

中間市・民間事業者
中間市オレンジセーフティネット事業
～九州初となる民間事業者様の協力による実施～

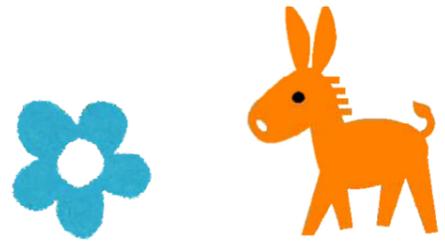
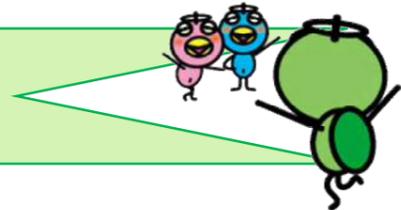


九州地区初の
取り組みです！





「認知症 なかまで備え 支え合う」プロジェクト



認知症サポーター養成講座



～ 中間市民図書館職員 ～

認知症サポーター養成講座とは…

認知症を正しく理解し、偏見を持たず日常生活の中で認知症の人やその家族を温かく見守り支える「**応援者**」を**認知症サポーター**といいます。**認知症サポーター養成講座**は認知症サポーターを養成することで、認知症高齢者等にやさしいまちづくりに取り組むことを目的としています。

中間市民図書館の職員さん向けに講座(90分)を行いました！



高齢者の認知症との違い

- 発症年齢が若い
- 男性に多い
- 経済的な問題が多い
- 備え盛りで一家の家計を支えている人が多い
- 家庭内での課題が多い
- 発症年齢54歳以下
- 高齢者の認知症は女性の方が多
- 大検問、子どもの教育、教育、結婚など
- 主介護者が配偶者に集中する
- 介護者が高齢の親である
- 時に複数介護となる
- 若年性認知症やその配偶者の病は専ら介護状態になるリスクが高い世代
- 子どもが若く場合によっては未成年であるため
- 子どもが若年性認知症になった場合
- 見守りが大切
- できることは自分でしてもらう

初期症状が認知症特有のものではなく、診断しにくい。異常であることは気付くが、受診が遅れる

「もの忘れ」と「認知症」の違い

もの忘れ

自分が体験したことの一部を忘れる

認知症

体験した事のすべてを忘れてしまう

認知症介護をしている人への支援

家族だけで抱えるのではなく、周囲の人や専門家、市役所と一緒に考え、支えていく必要があります。

認知症サポーター

認知症サポーターは、特別なことをする人ではありません。認知症を理解し、偏見を持たず、認知症の人とその家族を温かい目で見守ることから始めてみませんか？

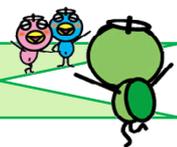
目印は オレンジリング

今日からみなさんは『認知症サポーター』です

今回から講義内容をリニューアルし、若年性認知症や認知症の進行に応じた対応方法についての情報を取りいれました。講義時間が長いため、クイズ「もの忘れ？認知症？どっちでSHOW」やゲーム「なんの曲でショー」で飽きないように工夫しています。また、認知症になった人と同じように介護をしている人への支援も必要だということ、「一緒に考えよう。」と寄り添うのも認知症サポーターとしての重要な役割だということも伝えました♥今後も、サポーターの人数を増やすことだけを目標とするのではなく、認知症に対する正しい知識を身に付け、支援について自分の思いを持ってもらえるような認知症サポーターを養成していきます！



★「認知症 なかまで備え 支え合う」プロジェクト★



認知症サポーター養成講座



認知症って高齢者だけの問題？一部の人だけが考え、支援すること？
認知症を自分事として捉え、正しい理解が芽生えるよう様々な年代に向け
認知症サポーター養成講座を実施しています！

中間市内にある希望が丘高等学校の一年生と先生を対象に♪



～アンケート～

Q：認知症についてあなたができる「備え」とは何ですか？

- ・認知症について知ることが最初の備えだと思う。
- ・誰もがなりうることとして事前に周りの人と話しておく。
- ・オレンジセーフティネットを利用する。

Q：講座についての感想や質問など自由にお書きください。

- ・家族で話そうと思った。
- ・自分でできることを奪わないことが大切だと学んだ。
- ・自分に関係のないことだと、知らんぷりしてはいけないと思った。



中間市役所職員を対象に♪

オレンジセーフティネット事業についての説明動画も観ました！



自分が認知症だったら、どのような接し方をしてほしいかを考え
認知症の人への接し方を中心に学びを深めました。
一人一人に寄り添う気持ちで接することが大切だということ
を共通理解することができました♥